

## 「岡山県人口ビジョン案、おかやま創生総合戦略案」に対する 県民意見等の募集結果について

平成27年8月27日から平成27年9月25日までの間、「岡山県人口ビジョン案、おかやま創生総合戦略案」について、岡山県民提案制度（パブリック・コメント）により、御意見を募集したところ、岡山県人口ビジョン案に対して23件、おかやま創生総合戦略案に対して102件が寄せられました。

これらの御意見に対する県の考え方を掲載しておりますので御覧ください。  
貴重な御意見ありがとうございました。

### <寄せられた御意見の要旨と県の考え方>

（表中の項目番号・項目名はパブリック・コメント時の各案のもの）

#### 1 岡山県人口ビジョン案

##### (1) 人口ビジョン案全般

	意見の要旨	県の考え方
1	<b>【全般】</b> 知事は国内外に「緊急事態発生」及び少数精鋭で文武両道の英才教育の実施を宣言すべき。	人口ビジョンにおいて、人口の現状を分析し、将来的に人口減少に歯止めがかからない場合には、県民生活に深刻な影響を及ぼすことなどを示し、県民と認識の共有を図ることとしています。

##### (2) 岡山県の人口の現状と分析

	意見の要旨	県の考え方
2	<b>【自然減（出生者数低下）の要因】</b> 第2子以降の出産に伴う育児休業中による保育園児の退園は、出産の躊躇に繋がる。子どもを産み育てやすい環境を作るべき。	人口ビジョンでは、「結婚したい人が結婚したい年齢で結婚し、さらに安心して出産し子育てできる環境づくりを進め、出生率の向上を図り、自然減に歯止めをかける」ことを目指すべき方向としており、その実現に向け、総合戦略に掲げる多子世帯への支援を含め、少子化対策を推進してまいります。
3	<b>【自然減（出生者数低下）の要因】</b> 各市町村における合計特殊出生率の推移を教えてほしい。合計特殊出生率が高い地域の取組を参考にすべきだ。また、合計特殊出生率が高い沖縄県や宮崎県を中心に広報し、子育て意識が高い方の移住を受け入	各市町村の合計特殊出生率は、 ( <a href="http://www.pref.okayama.jp/page/detail-3645.html">http://www.pref.okayama.jp/page/detail-3645.html</a> 「統計表（2）人口動態」）に示していますので、ご参照ください。人口ビジョンでは、「結婚したい人が結婚したい年齢で結婚し、さらに安心して出産し子育てできる環境づくりを進め、出生率の向上を図り、自然減に歯止めをかける」ことを目

	れることも、県内の人口増加に効果があるのではないか。	指すべき方向としており、その実現に向け、他県の例も参考としつつ、総合戦略に掲げる少子化対策を推進してまいります。
4	<p>【自然減（出生者数低下）の要因】</p> <p>岡山県の出生率が全国平均より高い理由及び上位の県より低い理由はこういった要因か。</p>	それらの要因は明らかではありませんが、人口ビジョンでは本県の現状や県民意識調査による県民の結婚・出産・子育てに関する意識等を踏まえて、目指すべき将来の方向を掲げており、その実現に向け、総合戦略に掲げる少子化対策を講じてまいります。
5	<p>【県内市町村の状況】</p> <p>東京一極集中の是正同様、岡山市一極集中をどのように捉えるかが重要であり、そのためには、各市町村の状況を分析し、経済、就労、出生状況を詳細に比較し、一つの尺度で各地域がどのような都市力であるかを検討することが効果的ではないか。</p>	県南都市部へ過度に人口が集中していくことは、望ましいことではないと考えており、人口ビジョンにおいては「中山間地域等にあっても、拠点的地域において生活機能を確保し、地域活力を維持する」ことを目指すべき将来の方向として掲げています。その実現に向け、さまざまなデータを分析しながら、総合戦略に掲げる施策を効果的に推進してまいります。
6	<p>【県内市町村の状況】</p> <p>市町村レベルでは、自然増、社会増の自治体があるが、増加要因の分析がない。特に社会増の理由が判然としないため、人口増の要因を分析する必要があると考える。</p>	市町村レベルの詳細な分析については、各市町村の人口ビジョンにおいてなされるものと考えています。
7	<p>【県内市町村の状況】</p> <p>倉敷市、総社市、勝央町はどの部分に該当するのか。色の判別がつきにくいため分かりにくい。</p>	倉敷市、総社市及び勝央町は「80%超90%以下」に該当します。
8	<p>【県内市町村の状況】</p> <p>岡山市や倉敷市を中心とする周辺地域と中山間地域である美作地域等は、同じ計画で語られるべきでない。岡山市や倉敷市の人口集中を是正する考えはないように見える。県北地域の将来を考えるのであれば、地域ごとの人口ビジョンも作成するべき。</p>	県南都市部へ過度に人口が集中していくことは、決して望ましいことではないと考えており、人口ビジョンの目指すべき将来の方向として、「中山間地域等にあっても、拠点的地域において生活機能を確保し、地域活力を維持する」ことを記載しています。なお、地方創生の実現のためには、各地域がその状況を踏まえた目標を設定し、取組を進めていくことが重要であり、県による地域ごとの人口ビジョンの作成は考えていません。

9	<p>【県内市町村の状況】</p> <p>岡山、倉敷地域以外の地域では、高齢化率が高くなることにより、どのような課題が予想されるか。また、その地域（特に中山間地域）の高齢化率の差とそれぞれの課題の特徴はどう予想するか。</p>	<p>国内市場の縮小や生産年齢人口の減少などによる経済・雇用や社会保障制度への影響、さらに、中山間地域においては、集落の消滅や地域の衰退が進むこと懸念され、やがては都市部へも波及する可能性があります。それぞれの地域における高齢化率及びその課題はそれぞれの地域において分析されるものと考えています。</p>
10	<p>【県内市町村の状況】</p> <p>隣縣市への通勤・通学や転出が多いことから、県内3市の通勤・通学の実態だけでなく隣県への実態も記載すべき。</p>	<p>岡山市、倉敷市、津山市の人の流れの記載は、特定の市へ集中している実態を示したものです。また、県外への人口移動の状況については、地域ブロックごとに記載し、東京圏をはじめとした三大都市圏への転出超過が課題であることを示しています。</p>

## (2) 人口の将来展望

	意見の要旨	県の考え方
11	<p>【目指すべき将来の姿の基礎となる県民の希望等】</p> <p>戦後、結婚、子育てに関する経済的負担及び一世帯当たりの平均収入はどう変化したのか。</p>	<p>人口ビジョンは、将来展望に必要な結婚・出産等に関する意識や希望などを調査・分析し、人口に関して目指すべき将来の方向を提示するものであり、過去の平均収入等の分析までは行っていませんが、核家族化の進行などにより、子育ての負担が大きくなっていることが指摘されています。</p>
12	<p>【目指すべき将来の姿の基礎となる県民の希望等】</p> <p>県内大学生が卒業後に県外に転出したいと考える理由を把握するべきではないか。</p>	<p>人口ビジョンには記載していませんが、今回併せて調査した結果によると、県外へ転出したい理由は、県内出身者では「出身地から離れ自立したい」「都会に出たい」と回答した者が約6割、県外出身者では「出身地へ戻る」と回答した者が約半数となっています。</p>
13	<p>【目指すべき将来の姿の基礎となる県民の希望等】</p> <p>大学生の県外転出する理由を記載してほしい。</p>	<p>県外へ転出したい理由は、結果的に岡山県の目指すべき将来の姿に直接参考としにくいものであったことから、記載していません。</p>
14	<p>【目指すべき将来方向】</p> <p>人口減少の歯止めは無理であり、少子高齢社会に適した事業を提案すべき。将来の方向に対応した新規事業を行うのか。若い世代の結婚を</p>	<p>人口ビジョンに記載しているとおおり、このまま人口減少が進行した場合、地域活力の低下など深刻な影響が懸念されるため、若い世代の結婚・出産・子育てに関する希望の実現などにより、人口減少に歯止めを</p>

	<p>率先するべき。</p>	<p>かける必要があると考えます。一方で当面の間は、人口が減少し続けることから、総合戦略では両方の観点から対策を講じることとしており、将来の方向を達成するため、少子化対策などさまざまな分野で新たな事業を含め効果的な取組を行います。</p>
15	<p>【目指すべき将来方向】</p> <p>「結婚したい人が結婚したい年齢で結婚する」ための対策案を盛り込み、具体化するべき。若者への過重労働の見直しや休暇取得の促進が必要である。</p>	<p>人口ビジョンは本県の人口の現状を分析し、目指すべき将来の方向を示し、県民と意識の共有を図るものであり、人口ビジョンに盛り込むことは考えていませんが、総合戦略において、御提案のありました少子化対策事業を盛り込んでいます。</p>
16	<p>【目指すべき将来の方向】</p> <p>結婚したい年齢で結婚し、安心して出産・子育てするためには、若い世代の収入の確保が必要不可欠であることから、目指すべき将来の方向に追加するべきではないか。</p>	<p>若い世代の経済基盤の確保は重要と考えており、目指すべき将来の方向の「①若い世代の結婚・出産・子育てに関する希望を実現する」に掲げる「安心して出産し子育てできる環境づくり」や「②県内での就職や本県への移住・定住に関する希望がかなえられ、県民が安心して住み続けられる魅力ある岡山県とする」に掲げる「県内の雇用創出や生活・教育・働きやすい職場環境の整備」は、結婚・出産・子育て世代の雇用や収入の確保も含んでいます。</p>
17	<p>【目指すべき将来の方向】</p> <p>若い世代の県外への流出の要因として、「大学進学で県外転出した者のうち就職時に県内に戻ってくる者が減少した」とあるが、この現象を踏み込んで考える必要がある。学歴重視や大企業指向から、やりがいを持てる仕事等を模索できるよう、小学校低学年からのボランティア活動や職場体験を薦める。「社会のニーズ、自分の生き方に合った進学先・就職先」を選べる手助けが必要と考える。</p>	<p>「県内大学生の卒業後の居住先等に関する意識調査」において、就職・就業に対する考えを分析したところです。人口ビジョンでは「若い世代の県外への流出を防ぎ、本県へ人材を還流・定着させる」ことを目指すべき方向としており、その実現に向けては、総合戦略に掲げる魅力ある仕事づくりなどを推進してまいります。</p>
18	<p>【目指すべき将来の方向】</p> <p>将来の方向で示す「県南都市部や県外への人口流出を食い止める」と</p>	<p>目指すべき将来の方向に「中山間地域等にあっても、拠点的地域において生活機能を確保し、地域活力を維持する」ことを掲</p>

	は、県として中山間地域の人口流出に対応するということか。	げており、その実現に向け、総合戦略に掲げる小さな拠点などを推進してまいります。
19	<p>【目指すべき将来の方向】</p> <p>大学・短大数の多い岡山県では、県外出身者が卒業後に「岡山県内に住みたい」とするための方策が効果的と考える。県外出身者が県内に就職した際の住宅補助や県外出身者が交流できる仕組みを作ってはどうか。</p>	<p>「県内大学生の卒業後の居住先等に関する意識調査」によると、県外出身者の30%が卒業後の希望する居住先を「わからない」と回答しており、これらの方は本県への定着の可能性があると考えています。その実現に向け、総合戦略に掲げるとおり、資金助成を含め、県内に定着されるようさまざまな施策を推進してまいります。</p>
20	<p>【目指すべき将来の方向】</p> <p>定住者が流出しないよう、地域の特色や魅力を伝えていく必要があるのではないか。津山市の人口流出の大きな原因は就職であるため、雇用促進や企業誘致を行い、市内で職を探せるよう行政からもアプローチする必要がある。</p>	<p>人口ビジョンの目指すべき将来の方向では、県内の雇用創出などにより、就職等による転出に歯止めをかけることとしており、その実現に向け総合戦略に掲げる企業誘致や地域産業の振興等の施策を積極的に推進してまいります。また、総合戦略に掲げるとおり、本県に対する愛着心と誇りの醸成を促進してまいります。</p>

### (3) その他

	意見の要旨	県の考え方
21	<p>【その他】</p> <p>1 学校、教育委員会制度を改革すべき。</p> <p>① 英才教育で不登校の要因をなくす。</p> <p>② IT機器等の活用により、身体障害者、精神障害者の労働力の拡大をする。</p> <p>2 妊娠中絶者の対応を真剣に考えるべき。</p> <p>① 生殖医学の振興（不妊治療含む）</p> <p>② 里親制度の拡充</p>	<p>人口ビジョンは本県の人口の現状を分析し、目指すべき将来の方向を示し、県民と意識の共有を図るものであり、総合戦略において、おかやま創生の実現に向け、少子化対策や魅力ある教育環境の整備など具体的な対策を講じてまいります。</p>
22	<p>【その他】</p> <p>・マスメディアの学校不要論を排除すべき。</p> <p>・稚拙タレントの出演やネット依存を排除し、問題行動、行方不明、</p>	<p>人口ビジョンは本県の人口の現状を分析し、目指すべき将来の方向を示し、県民と意識の共有を図るものであり、総合戦略において、おかやま創生の実現に向け、魅力ある教育環境の整備など具体的な対策を講</p>

	自殺を阻止するべき。	じてまいります。
23	<p>【その他】</p> <p>1 他国から労働力を受け入れる場合は、日本の文化や誇りを堅持するべき。</p> <p>2 新生児育成のための補助金を支給するべき。</p> <p>3 女性を尊重し、子育てしやすくするべき。</p> <p>① 女性未採用の雇用主へ税を加算する。</p> <p>② 単身及び共稼者へ扶養の優遇措置をする。</p> <p>③ DV、セクハラ等を民事・行政で対処する。加害者が未成年の場合は保護者名を付記する。</p> <p>4 公務員は積極的に人口減少問題に貢献するべき。</p> <p>① 議員は妻帯者とする。</p> <p>② 独身の公務員は登用を遅らせる。</p> <p>5 高齢者の体力や財源を生かすべき。</p> <p>① 災害時の避難訓練を行い、復興費を積み立てる。</p> <p>② 公務員、OB等はパトロールを行う。少年法を行政法で準用し、罰金刑とする。</p> <p>6 移住者を厚遇で受入し、限界集落や消滅都市を支援してもらおうべき。</p>	<p>人口ビジョンは本県の人口の現状を分析し、目指すべき将来の方向を示し、県民と意識の共有を図るものであり、総合戦略において、おかやま創生の実現に向けたさまざまな対策を講じてまいります。</p>

## 2 おかやま創生総合戦略案

### (1) 総合戦略案全般

番号	意見の要旨	県の考え方
1	<p>【総論】</p> <p>民間の意見を幅広く吸い上げていくためには、窓口の一本化を行い、ワンストップで対応する「民間対応窓口」を設置してほしい。また、政</p>	<p>本県では、おかやま創生総合戦略推進本部を立ち上げ、幅広い政策論議とより迅速な意志決定を行い、集中的に施策を推進することとしており、その事務局を担う総合政策局が、部局間の連携を含めた全体の総</p>

	策に民間の意見を反映させる際には、民間が望む最適な時期を逃さない臨機応変な運営をしてほしい。	括を行っており、併せて、県民の皆様の御意見を伺っているところです。
2	【総論】 一般的に認知度が低い専門用語については、注釈を設ける等、県民皆が深く理解できるようにすべき。	御意見を踏まえ、文中の分かりづらい専門用語等の用語集を巻末に加えます。
3	【総論】 岡山市や倉敷市及びその周辺地域と中山間地域である美作地域が同じ計画の中で語られるべきではなく、もう少し小さい地域ごとの計画も作成・公表する必要がある。 地方創生という意味では特に中山間地域は総花的な計画ではなく、重点的な計画であるべきだと思う。	地方版総合戦略は、県のみならず、全市町村で同時期一斉に主体性・独自性を発揮しながら策定するものであり、圏域で連携する市町村単位での策定も認められています。そのため、県が地域ごとに戦略を策定することは適当でないと考えています。
4	【総論】 県民が「暮らし続ける」という意思を明確にビジョンとして表現、発信するため、岡山を首都化する、「生活首都岡山 ～日本一、安心・豊かに暮らし続ける創生都市～」を提案する。	本県の暮らしやすさといった特色や優位性などを踏まえ、東京一極集中の是正、おかやま創生に向け、政府関係機関や企業本社機能の地方移転について取り組んでまいります。
5	【総論】 岡山県人口ビジョンと戦略との関連が分かりにくい。	御意見を踏まえ、基本的な考え方の中で、本県の人口減少の状況等を記述するとともに、本県人口ビジョンの将来展望の要旨を追記します。
6	【総論】 各対策の語尾が「努めます、図ります、推進します、促進します、支援します」等で具体的でない。	本戦略は、人口減少問題を克服し、本県の持続的な発展を実現するための今後5カ年の目標や施策の基本的方向と施策を取りまとめているものであり、今後、市町村との連携を図りながら、施策の具体化を進めてまいります。
7	【総論】 それぞれの指標について、毎年度の数値を公表すべき。	総合戦略では、基本目標や重要業績評価指標について、毎年度外部有識者等を含む検証機関でその達成度を検証し、改善するPDCAサイクルの導入が求められており、今後、公表方法も含めて、その検証方法等について検討を進めることとしている

		とあります。
8	<p>【総論】</p> <p>人口減などの社会環境の激変に対応する機関（組織）の創設</p>	人口減少等の社会環境の変化の影響は、県政のあらゆる分野に及ぶことから、総合政策局において部局横断的な調整を行いながら、施策を推進します。
9	<p>【基本的な考え方】</p> <p>知事は人口減少問題を「緊急事態発生」として、国内外に宣言し、人口減阻止を県民挙げて達成できるよう協力を熱望してほしい。</p>	人口ビジョンで人口の現状を分析し、県民生活に深刻な影響を及ぼすことなどを示し、本戦略では、県の役割として、これらの基本認識や対策の方針について、積極的に情報発信することとしており、今後、県民と認識を共有しながら、取組を推進していきたいと考えています。
10	<p>【岡山の強み】</p> <p>岡山の強みは、岡山の優位性と参考データの列挙だけだが、文章としての記述があった方が読みやすいのではないかと。</p>	御意見を踏まえ、岡山の強みについての文章を記述します。
11	<p>【岡山の強み】</p> <p>他県に対する優位性を最大限いかすことが必ずしも人口減少問題と持続的発展に効率的な手段とはいえない場合もあるのではないかと。</p>	「おかやま創生」を実現するためには、ひと・しごとを呼び込むことが重要であり、他県との比較で本県を選択してもらうためには、本県の強みを最大限に生かした施策を展開する必要があると考えています。

## (2) 講ずべき対策

番号	意見の要旨	県の考え方
12	<p>【基本目標】</p> <p>県内でも岡山市一極集中が存在しており、都市部と過疎地域のどちらを重点とするのかが大きな課題になる。</p> <p>たとえば、まず都市力を備えた地域が、県外から人を呼び込み、人々に各市町村の魅力を伝える事で都市力が弱い地域に活力をあたえることになり、過疎地域に人をいれる一つの流れになるのではないかと。</p> <p>また、特殊合計出生率の上昇について、婚姻率や合計特殊出生率が低い地域を抽出して重点を置き、改善</p>	<p>県では、首都圏等において、過疎地域だけではなく、岡山市や倉敷市など県南の都市部の市町村も参加した移住相談会を開催しているところとあります。</p> <p>今後とも、首都圏等から県内に人を呼び込めるよう情報発信の強化に努めてまいります。</p> <p>また、少子化の背景には、さまざまな要因が複合的にあると考えており、モデルケースの創出に限らず、県内市町村の取組と連携しながら、地域の実情に対応した少子化対策の効果的な展開について検討を進めてまいります。</p>



	<p>のモデルケースを創出することも対策の一つではないか。</p>	
13	<p><b>【基本目標】</b> 人口ビジョン案と戦略案の基本目標は矛盾するのではないか。</p>	<p>人口ビジョンは、本県人口の現状等を分析し、今後目指すべき将来の方向など人口の将来展望を提示するものであり、本戦略は、この人口ビジョンを踏まえ、人口減少問題を克服し、本県の持続的な発展を実現するための今後5カ年の目標や施策の基本的方向と具体的な施策を取りまとめたものです。</p>
14	<p><b>【全般】</b> 各「課題と対策」の項において、「・・・する必要がある。」等の記述は、課題として書かれていると思われるが、一方では対策とも受け取られるので、課題は課題として、はっきり書くべきである。</p>	<p>「課題と対策」では、取組が不十分なことを課題として記載するとともに、その対策についても併せて記載しているところです。</p>
15	<p><b>【全般】</b> 県内の各市町村の各地域の特性や実情を踏まえた地域別の施策検討が必要であり、そうした観点に立って施策検討を行う市町村職員のレベルアップが今後の課題となる。 各市町村職員の人材育成を行う旨を推進施策に織り込んでほしい。</p>	<p>推進施策に織り込むことは考えていないところですが、各市町村においては従前より市町村振興協会による職員研修などにより、人材育成に努めているところであり、県としても、必要に応じて研修会を開催するなど、市町村職員の能力向上に努めているところです。</p>
16	<p><b>【自然減対策】</b> 結婚・妊娠・出産は個人の自由な選択によるものであり、合計特殊出生率を数値目標とすることは許し難く、該当部分の削除を求める。 また、「きめ細やかな保育の拡充」とあるが、「○年度までに保育施設を○箇所増設」や「保育士・幼稚園教諭を○人増員」と、具体的な数値目標設定がされないのかが疑問である。</p>	<p>合計特殊出生率の目標は個人に対して課すものではなく、県の取組などにより、県民意識調査で示された県民の結婚・出産に関する希望がかなった場合の出生率であり、この県民の希望をかなえることを目標として設定したものです。 また、幼児期の教育・保育の拡充については、具体的な内容までは本戦略に記載していませんが、各市町村が住民のニーズを踏まえて策定した計画に基づき推進しており、県としてもしっかり支援することとしています。 なお、数値目標設定については、県が行う行政活動の結果（アウトプット）ではな</p>

		く、その結果として県民にもたらされた便益（アウトカム）に関する数値目標を設定しています。
17	<p><b>【自然減対策】</b></p> <p>岡山県の子どもに関わる統計データを見ると長期欠席児童数や学力テスト、暴力行為発生率、少年非行率等、マイナス要因の順位が全国トップクラスである現状がある。これは「若い世代の希望を叶える少子化対策の推進」に対して根本的なところで支障をきたすと考えられるため、KPIにも加えるべき。</p>	<p>御意見のあった指標のうち、代表的な指標として全国学力調査の全国順位及び暴力行為の発生割合について、本戦略（P.16）の魅力ある教育環境の整備に記載しています。</p>
18	<p><b>【自然減対策】</b></p> <p>周産期から乳幼児・小児医療について、妊産婦・子どもが必要な医療・医療情報・サービスを受けられる一貫した体制づくりを盛り込んでいただきたい。</p> <p>次の医院を選ぶためのサポートが得られるようになれば、市民は適切な医療環境を継続して提供されることになる。</p>	<p>県では、医療機関の基本情報（名称、所在地、診療科目等）、医療機関へのアクセス、院内サービス等が検索できるホームページ「おかやま医療情報ネット」を構築し、公開しています。</p> <p>医療は、主治医と患者の信頼関係と医療機関間の円滑な連携のもとで提供される必要があるため、主治医から適切な医療機関に紹介されることが望まれますが、患者にも適切に判断いただく上で、「おかやま医療情報ネット」を役立てていただきたいと考えています。</p>
19	<p><b>【自然減対策】</b></p> <p>DVや虐待など子育てに困った時にはどこに相談し助けを求めたら良いかを周知すると同時に保育園や警察、またそれらのOB等での新たな組織作りも必要ではないか。</p> <p>また、子どもの成長によって数多くの感動や幸せを感じられることも伝えられる環境づくりが必要である。</p>	<p>子育て相談には、市町村の保健福祉担当課のほか、県の「子ども・家庭電話相談」や「すこやか育児テレホン」等での電話相談を行っています。また、児童相談所、県民局健康福祉課、保健所などでも相談に応じています。身近な地域で交流・相談ができる場所として、地域子育て支援拠点も整備しており、現在、県内各地に約170か所を設置し、県のホームページでも紹介していますので、積極的に御参加いただけるよう、今後も広報に努めてまいります。</p>
20	<p><b>【次世代育成に向けた意識の醸成】</b></p> <p>働く女性が育児休業をとりやすい環境を整えるべきであり、県として</p>	<p>御意見のとおり、仕事と子育ての両立による負担感を軽減するためには、男女がともに子育てに参画しやすい職場環境づくり</p>

	<p>優良企業を奨励し、支援していく必要がある。</p> <p>また、企業向けの研修を行うなど、より妊娠・出産を支援する企業を増やしていく必要がある。</p>	<p>が重要であると考えています。そのため、県では、子育て支援に積極的に取り組む企業を「子育て応援宣言企業」として登録し、優れた取組を顕彰するとともに、登録企業を対象として育児休業の取得を促す奨励金制度を設けています。</p> <p>また、企業に対して働く意識改革のための研修を実施するとともに、経営者自らの率先行動を促す「イクボス」の取組の普及などに取り組み、子育て世代にやさしい職場環境づくりを進めてまいります。</p> <p>なお、本戦略の「次世代育成に向けた意識の醸成」にこの取組を進める旨を記載しています。</p>
2 1	<p><b>【次世代育成に向けた意識の醸成】</b></p> <p>真のワーク・ライフ・バランスを実現するためには、ブラック企業対策や労働関係法令遵守の徹底等の対策強化が求められる。</p> <p>また、行政機関等における労働相談機能の質・量ともに強化充実する必要がある。</p> <p>さらには、公契約における労働条件の適正化・法令遵守を促す仕組みを作ることが重要である。</p>	<p>県では、いわゆるブラック企業対策や労働関係法令の遵守の徹底等に関して、岡山労働局と連携して適切に対応しています。</p> <p>また、労働相談機能の充実については、相談対応能力の向上を図るため、県や岡山労働局等の相談機関が集まり、労働相談・個別労働紛争解決制度などについての連絡会議を開催しています。</p> <p>公契約における仕組みづくりについては、賃金などの労働条件の基準は労働関係法令で定められている範囲内において、労使間で自主的に決定することが原則とされていることから、こうした原則を踏まえるとともに、引き続き、国における公契約に係る議論の動向等を注視しながら検討する必要があると考えています。</p>
2 2	<p><b>【次世代育成に向けた意識の醸成】</b></p> <p>「男性の育児休業取得率」や「もっこカード協賛店舗数」がKPIになっているが合計特殊出生率との因果関係が不明確である。</p> <p>例えば「婚姻届出数」、年代別の「婚姻数（結婚している人数）」の割合をKPIとすべきではないか。</p>	<p>このKPIは、政策パッケージ「次世代育成に向けた意識の醸成」の進捗を見るための指標として設定したものであり、結婚に関しては、結婚・子育てに前向きなイメージを描くことができるような意識醸成を目指す対策の評価指標として「いずれ結婚したい人の割合」を設定しています。</p>
2 3	<p><b>【結婚の希望をかなえる環境づく</b></p>	<p>御意見を踏まえて、「コミュニケーション</p>

	<p>り】 「結婚をサポートする体制の整備」で「スキルアップセミナーの実施」とあるが、何のスキルをアップするためのセミナーか不明である。</p>	<p>ン等のスキルアップセミナー」と変更します。</p>
24	<p>【結婚の希望をかなえる環境づくり】 婚活を前面に出したイベントには参加しづらいとの意見もあり、直接的に結婚に結びつく出会いの場の提供だけでなく、若者向けのサークル活動やボランティア、イベントなどの場を増やすことも重要ではないか。</p>	<p>若者が気軽に参加できるようさまざまな工夫をこらした出会いイベントが県内各地で行われています。県では、ホームページなどの媒体を通じ、これらのイベントの情報を提供しています。 御提案のサークル活動等についても、出会いの場の提供の一つとして、有効と考えられますので、機会をとらえて市町村をはじめとする主催団体に検討するよう促してまいります。</p>
25	<p>【妊娠・出産の希望がかなう環境づくり】 高度医療（不妊治療）は高額のため補助金が出たとしても何度も受けることが困難である。出産後の育児支援も大切だが、まずは授かるための支援を手厚くしてもらいたい。</p>	<p>晩産化の進行によって不妊に悩む方が増加する中、県では、岡山県不妊専門相談センターによる相談支援のほか、高額な費用がかかる不妊治療への助成を実施し、心理的、経済的負担の軽減を図っているところです。 なお、本戦略の「妊娠・出産の希望がかなう環境づくり」にこの取組を進める旨を記載しています。</p>
26	<p>【子育て支援の充実】 「若いうちに結婚し、産み、育てよ」のみでなく、子どもを産んだ後の支援の充実など、安心して出産できる社会的基盤の一層の充実こそが喫緊の課題である。</p>	<p>安心して出産できる社会的基盤の一層の充実のために、本戦略の「子育て支援の充実」に記載のとおり、子どもが生まれた後の地域における支援などに引き続き各種施策を推進してまいります。</p>
27	<p>【子育て支援の充実】 公務員や教員は産休、育休と言えれば人員の補充があるが、民間企業では簡単に有期雇用できないと考える。</p>	<p>国では、育児休業取得者の代替要員の確保のために中小企業事業主に対し助成する制度を設けており、県では、制度が十分活用されるよう、引き続き働きかけてまいりたいと考えています。</p>
28	<p>【子育て支援の充実】 推進施策の子育て支援の強化として、きめ細かな保育サービスの提供を促進すると書いてあるが、具体的</p>	<p>延長保育や、休日保育など、保育所利用者に対する保育所の開園日や開園時間に関するサービスや、一時預かりや、地域子育て支援事業など、子どもや保護者の身近な</p>

	<p>にはどういった取組をしていく予定なのか。</p> <p>また、岡山県内の保育士が足りていないなら、保育する側の人たちの環境を整備し、保育士になりたい人を増やすべきである。</p>	<p>場所での保育に関するサービスなど、地域のニーズ等に応じて、さまざまな取組を行ってまいります。</p> <p>また、御意見のとおり、保育の量的拡充に伴う保育士の確保も必要であり、保育職場の環境改善や保育士の研修、潜在保育士の掘り起こしに努めているところです。</p>
29	<p><b>【子育て支援の充実】</b></p> <p>大家族、三世帯同居家族の推進(復活)は、人口減少のみならず、コンパクトシティ化の推進や空き家対策の改善にも繋がると考える。</p> <p>近隣を何km以内と定義し、「近隣も含めた大家族(三世帯同居家族)数」をKPIとして、今後の施策の有効性を判断してはどうか。</p>	<p>三世帯同居・近居による祖父母の育児参加の促進は、地域全体で子育て支援を行う取組の一つと考えており、近隣を含めた地域で子育て支援を行う拠点であるおかやま地域子育て支援拠点数を指標としているところです。なお、御提案の項目について、数値の把握は困難であり、KPIとすることは考えていません。</p>
30	<p><b>【子育て支援の充実】</b></p> <p>出生率を上げる為には若年層に結婚して貰う必要がある。</p> <p>若年層が結婚した場合には、児童手当の割増金を支給する制度について、御検討いただきたい。</p>	<p>御提案の制度は国の制度として、子育て家庭の生活の安定に寄与することを目的としており、若年層で子どもが生まれた場合も含めて子育て家庭を経済的に支援する幅広いものとなっていますので御理解ください。</p>
31	<p><b>【子育て支援の充実】</b></p> <p>子育ての際に大きな経済的な負担となる教育費関連を無料化する施策が有効ではないか。塾を必要としない教育システムを作るなど、教育問題の改善が必要である。教師の経験を持つ退職者から人選して、再度教育の現場で学生、及び現在の教師を指導するシステムづくりについて、検討いただきたい。</p> <p>また、学生の学力を向上させることに成功した学校の教育事例を研究し、他の学校に展開していくシステムを検討してほしい。</p>	<p>教育費の負担軽減については、就学援助や高等学校等就学支援金制度や、高校生等奨学給付金制度、各種貸付金制度等の周知を図ってまいります。</p> <p>また、学校教育の充実のため、基礎・基本を徹底するための授業改善を進めるとともに、学習時間を確保し、きめ細かに授業でのつまづきを解消するため、学習支援員による放課後や長期休業中の補充学習など、取組を進めており、教職経験を有する方の協力もいただいているところです。</p> <p>さらに、退職教員を再任用し、その経験を活かして子どもたちの指導に当たるとともに、若手の教員に対するOJTなどの指導に当たっているところです。</p> <p>教育事例の展開については、「頑張る学校応援事業」として、学力向上等に成果を</p>

		上げた学校の優良な取組を県下へ普及・拡大を図っているところです。
32	<p>【子育て支援の充実】</p> <p>保育・介護従事者の給与を上げるべきである。</p>	<p>今年度、保育士等の給与については、その人件費を約3%改善するとともに、保育士の事務負担の軽減を図るための人的配置の制度が、今年度から設けられています。</p> <p>また、介護職員の給与についても、今年度から、介護報酬において、介護職員処遇改善加算措置が拡充されたところであります。</p> <p>県では、保育士等の処遇改善など保育の質の改善に必要な財源の確保や介護職員へのより一層の処遇改善策が講じられるよう、引き続き、国に提案してまいります。</p>
33	<p>【子育て支援の充実】</p> <p>県は全域で広域保育を行っていない。どこの地域で働いていても出産後も職場を変えることなく働けるように子育ての環境を整えてほしい。</p>	<p>保育の実施主体である市町村において、地域の実情に応じた保育サービスを実施しています。県としても保育所の広域入所について、今後も必要に応じて関係市町村間の円滑な調整に努めてまいります。</p>
34	<p>【子育て支援の充実】</p> <p>保育士の人材育成はされているが、給料が職務と見合っていないので続けられない。待遇面の改善なしに育成と言っても現実とミスマッチしているようである。</p> <p>放課後児童クラブについては地域によって内容が異なり、格差が大きい。</p>	<p>今年度、保育士等の人件費が約3%改善されるとともに、保育士の事務負担の軽減を図るための人的配置の制度が設けられています。県では保育士等の処遇改善など保育の質の改善に必要な財源の確保を確実にを行うよう、国に対して引き続き要望してまいります。</p> <p>また、放課後児童クラブは、各市町村が国の基準に基づいて条例を定め、地域の実情・ニーズを踏まえ、見直しを行いながら、運用を行っているところです。</p>
35	<p>【子育て支援の充実】</p> <p>子育て家庭への多子世帯への経済的支援に努めるとあるが、多子世帯の定義として、大半が2人を想定し、4人の子供を持つ家庭で年が離れている場合は、経済的負担が大きいにもかかわらず多子世帯の恩恵がまったくない。</p> <p>実情の経済状況に合っていない</p>	<p>現在、国において、多子世帯への経済的支援の一環として、第3子以降の保育料無償化の対象を拡大する方向で検討中であり、県としても、国の検討状況を踏まえ、効果的な支援等について検討を進めたいと考えています。</p> <p>また、保育所の開園日や開園時間については、実施主体の市町村において、地域の実情に応じた保育サービスを実施していま</p>

	<p>め、保育料においても申告制で控除額を反映させるべきだと思う。</p> <p>また、市町村ごとに医療費の無償化がバラバラというのも子供を産まなくなっている原因だと思う。</p> <p>今後、労働者不足が差し迫っているのに、保育園などが土日祝休みの現状では女性が働けない。365日営業で時間は20時までなど、利便性を上げ、仕事終わりが遅い人にも配慮すべきだ。</p>	<p>すので、地域ニーズに沿って、順次、見直しを行いながら、運営されているものと考えています。</p>
36	<p><b>【産業振興と雇用創出】</b></p> <p>今後、アジア諸国等の富裕層をターゲットとした、要介護者受け入れ特区を全国に先がけて立ち上げてはどうか。</p> <p>元気な人はホテル宿泊（人間ドック）、要介護者は特養施設でショートステイと、一家総出で岡山でゆっくりと過ごしてもらおうプロジェクトです。</p>	<p>特別養護老人ホームのショートステイに観光等を目的として来日した外国人の方を受け入れると、県内の要介護認定等を受けた方の利用に支障を生じることも想定されることなどから、県としては、現時点では特区を申請することは考えていないところです。</p> <p>なお、多くの外国人の方に、訪問先として本県を選んでいただけるよう民間企業や近隣県等と連携した広域周遊ルートの売り込みや世界に岡山を知ってもらうための積極的な情報発信に引き続き取り組んでまいります。</p>
37	<p><b>【産業振興と雇用創出】</b></p> <p>以下のことにより、中四国のハブ都市化と文化力の向上を図るべき。</p> <p>1) 観光ターミナルとなる。コンベンション・カルチャーを主宰する。観光ルートを開発する。</p> <p>①後楽園と岡山城の一体管理 ②岡山市民会館の建設 ③岡山城・後楽園を一周する高瀬舟（遊覧船）の運用 ④岡山城址大駐車場の整備</p> <p>2) 三大河川の河川敷活用を活用したノンストップ道路架設及び川舟（高瀬舟）の運行。</p> <p>3) 物流・交通のセンターとなる</p>	<p>いただいた御意見は、今後、戦略を推進していく上で、参考とさせていただきます。</p>

38	<p>【産業振興と雇用創出】</p> <p>岡山経済界は、投機や放置している動産不動産を回収し、地元先達の力を示すべき。</p>	<p>御提案の未利用の不動産を活用することは経済の活性化につながると考えますが、各企業の経営判断に委ねるべきことと考えています。</p>
39	<p>【産業振興と雇用創出】</p> <p>中山間地域などへのサテライトオフィスは非常に中山間地域の起爆剤となり得るので、徳島県の取組を参考にしして推進していただきたい。</p>	<p>御意見のとおり、中山間地域へのサテライトオフィスの誘致は、都市部からの移住促進、地域活性化の面で有効であると考えています。</p> <p>県では、今年度から古民家等の空き家や廃校舎等に企業等のサテライトオフィスの誘致を図っており、今後も、全国の先進的な取組も参考にしながら進めてまいります。</p>
40	<p>【産業振興と雇用創出】</p> <p>岡山の優位性である高い医療技術と充実した医療環境を生かした戦略に関する記述がない。</p> <p>岡山県は国内有数の医療技術・産業集積団地となり得る可能性があり、ヘルスケアの産業集積が岡山にできれば産業振興も図られると思うので、医療関連の項目を追加してはどうか。</p>	<p>推進施策「技術開発と新たな市場開拓支援」の中で記述していますが、今後成長が期待される医療福祉機器分野において新技術・新製品の開発を進めることとしており、県では、「医療機器開発プロモートおかやま」等を核として、今後も新規参入の支援や取引拡大に取り組んでまいります。</p>
41	<p>【産業振興と雇用創出】</p> <p>岡山県が抱える課題解決のためには、企業の成長支援や創業支援などを行う『民』と、補助金の拡充や産業振興に向けた協議会・組織の設置などの環境整備を行う『官』の協力が欠かせないので、官民協力体制の一つとして、「岡山県と金融機関の連携」について総合戦略に加えていただきたい。</p>	<p>3-①「生産性向上と高付加価値化の促進」の課題と対策に「産学金官の連携強化」を記載するとともに、推進施策「技術革新の支援」に、「産学金官の連携による新技術・新製品の開発等を支援すること」を盛り込んでおり、今後も産学金官の関係機関で構成する「おかやまコーディネータ連絡会」の開催等により、連携を図ってまいります。</p>
42	<p>【産業振興と雇用創出】</p> <p>地域産業の振興、技術開発と新たな市場開拓支援、新規創業の促進とベンチャー企業の育成などにおいて、「支援機関等と連携」の記述があったほうがよい。生き生きプラン</p>	<p>御提案の支援機関等との連携は重要であることから、2-①「産業と雇用創出」の課題と対策で、「このため、」の後に「市町村や支援機関等と連携しながら」を加えます。</p>



	「企業支援プログラム」の中では記述されている。	
4 3	<p>【産業振興と雇用創出】</p> <p>地域産業の振興、技術開発と新たな市場開拓支援、中小企業の持続的成長・発展の支援において、新商品・新サービス・新技術が模倣等から適切に保護され、企業の持続的成長に資するため、秘匿化も含めた「知的財産の保護」に対する支援が必要</p>	<p>本戦略に具体的には記載していませんが、「知的財産の保護」は企業の成長・発展や競争力の強化にとって重要であると認識しており、新技術・新製品の開発等を支援する中で、今後、一層の保護・活用に努めてまいります。</p>
4 4	<p>【産業振興と雇用創出】</p> <p>県は、「後楽園の魅力」について、どのように考えているのか。後楽園は現代の観光に必要な要件を満たすことや利用者の利便性を考える必要がある。また、園内の茶店の活性化に県は支援すべき。さらに、イベントは日曜日が多いが、平日の方が県外者なども多く、後楽園の担当者の意見を聞く必要がある。</p> <p>交通の対策として、例えば、「めぐりん」のようなバスを旭川の東側にも循環させる必要がある。</p>	<p>岡山後楽園は、歴史ある文化財であるとともに、県を代表する観光施設の一つであることから、来園者のおもてなしや利便性の向上に関する対策は、後楽園の魅力向上にとって、大変重要であると認識しております。</p> <p>このため、いただいた御意見は、今後の魅力向上を図っていく上での参考とさせていただきます。</p> <p>なお、御提案の市内の循環バスは、岡山市の都市交通政策に関するものであるため、御提案の内容について、岡山市へお伝えします。</p>
4 5	<p>【産業振興と雇用創出】</p> <p>産業振興と雇用創出は急務である。K P Iの数値をこれより大きくすることはできないか。特に雇用創出数が大きくなれば、岡山県の人口増加に直結すると思われるので注力いただきたい。</p>	<p>産業振興と雇用創出を積極的に推進してまいります。K P Iの数値は、現況値を踏まえ、5年後を目標に設定しているところです。御意見の雇用創出数の増加は、人口増加に寄与することから、企業にとって魅力ある誘致施策を展開するなど、産業振興と雇用創出を積極的に推進してまいります。</p>
4 6	<p>【産業振興と雇用創出】</p> <p>K P Iに「県内大学新卒者の県内就職率」を掲げているが、Uターン者数を増やすため、県内出身者の新卒者の県内就職率の増加を目標に具体数字を掲げて施策に取り組むべき。</p>	<p>県内出身者の大学・短期大学・専修学校等進学後の県内就職状況を把握できていないことから、御提案の県内出身新卒者の県内就職率についてはK P Iとして設定できませんが、推進施策に掲げたとおり、若者のI J Uターン就職を促進してまいります。</p>
4 7	<p>【産業振興と雇用創出】</p>	<p>岡山後楽園は本県における代表的な観光</p>

	<p>入り込み観光客数としてKPIに「後楽園の入園者数」を入れているのであれば、県北地域のどこかも加えるべき。また、宿泊施設での入泊数をKPIとして設定するべき。</p>	<p>地であるとともに、県管理の観光地であることからKPIに設定しています。</p> <p>なお、観光産業はすそ野が広く経済的な波及効果が大きいことから、県全体の観光関連の指標として、観光消費額を設定しているところです。</p>
48	<p><b>【産業振興と雇用創出】</b></p> <p>ドライブなどで来県客が見込める近県（中国、四国、九州あたり）でのアンテナショップ設立と積極的なPRが集客と経済効果のアップには必要不可欠である。</p>	<p>近県でのアンテナショップ開設については、費用対効果の面などから難しいと考えていますが、近県でのPRは重要であり、観光キャンペーンやホームページを活用した県産品のPRを実施しているところです。</p>
49	<p><b>【産業振興と雇用創出】</b></p> <p>若者の離職防止や人材の定着を図るためには、学校における労働教育のカリキュラム化が不可欠であり、社会に出る前の基礎知識として、働くことの意味や労働者保護の仕組みなどを学ぶ場を設ける必要がある。</p>	<p>雇用や労働問題に関する学習については、小・中学校の社会や道徳、高等学校の現代社会や政治・経済などの教科・科目に位置付けられており、発達段階に応じた学習を行っています。さらに高等学校では、新しく社会に出る生徒に対して、総合的な学習の時間やホームルーム活動等において、働くことの意味やルール、マナー等を学ぶ教育を実施しています。こうした教育が充実するよう、毎年「働く若者サポートガイド」を県内全ての高等学校等に配付し、その積極的な活用を指導しているところです。</p> <p>今後、インターンシップの拡充や社会人講師の活用なども推進しながら、雇用や労働問題に関する学習がさらに充実するよう努めてまいります。</p>
50	<p><b>【産業振興と雇用創出】【生産性向上と高付加価値化の促進】</b></p> <p>技術開発と新たな市場開拓支援、技術革新の支援において、生き生きプランでは「精密生産技術（マイクロものづくり）を活用した自動車・航空機分野に加え、新エネルギー、医療福祉機器など今後成長が期待される…」の記述となっている。</p>	<p>生き生きプランの記述とは異なりますが、基本的な考え方に変更はありません。</p>
51	<p><b>【移住・定住の促進】</b></p>	<p>県では、移住希望の独身者と地元の独身</p>

	<p>過疎化が進む山間の古民家を活用して、移住希望の独身者と地元の独身者のシェアハウスを作ることではできないか。</p> <p>取組の中で、起業したり、結婚して定住する人が現れたら良いのではないか。</p> <p>将来的には各市町村のシェアハウスを組織化することで、県全域で情報が共有化され、若者の巡回がおり、活性化にも繋がる。</p>	<p>者が共に暮らすシェアハウスを整備することは考えていませんが、移住者を対象にシェアハウスのような形態を含む空き家の改修を行う市町村の取組を支援しているところ です。</p>
5 2	<p><b>【移住・定住の促進】</b></p> <p>県内市町村のメリットを研究し、それぞれの市町村が何かに集中すべきである。</p> <p>医療福祉に関しては、近隣の福祉レベルを凌駕し地域間競争に勝てる医療インフラが重要であり、行政としても低コストでレベルの高い医療サービスを提供していく旨を推進施策に織り込んでいただきたい。</p>	<p>各市町村は総合戦略の策定にあたり、住民や有識者など幅広い分野の方々から意見を聴取し、それぞれの地域の特性や実情を踏まえた効果的な対策を講じるとともに、市町村間連携により、お互いを補完し、メリットを享受するための取組も進めており、県としては、広域自治体として、個々の市町村の主体的な取組に対して支援を行うこととしているところです。</p> <p>また、本県の充実した医療提供体制については、岡山の魅力の一つとして、今後とも積極的に情報発信してまいりたいと存じます。</p>
5 3	<p><b>【移住・定住の促進】</b></p> <p>新しい道路ができると、そこが新たな商業地になり、その結果、渋滞が発生しやすくなる。</p> <p>道路網と土地利用をトータルで考える必要がある。例えば、生活道路の周辺は商業地としても良いが、産業幹線道路の周辺は工業用地や農地として残しておく等の対策を検討願いたい。</p>	<p>道路計画と土地利用計画を一体的に考えることは、計画的で秩序あるまちづくりを進める上で重要であることから、まちづくりの主体である市町村と引き続き連携を図り取り組んでまいりたいと存じます。</p>
5 4	<p><b>【多様な人材が活躍する社会の実現】</b></p> <p>推進施策と重要業績評価指標が一致しない。健康寿命ではなく、障害のある人や高齢者の就労率、出産・</p>	<p>健康寿命の延伸には様々な要因があるものの、他県で実施した調査では、社会参加をしている人が、健康寿命が長いことが指摘されています。このことから、仕事や地域活動への参加などの環境整備の推進が、</p>

	<p>子育て後の女性の再就職率などを評価指標とする必要がある。</p>	<p>健康寿命の延伸につながると考えられるために、評価指標としているものです。</p> <p>また、御提案の指標についてですが、高齢者の就業率は、5年周期の国勢調査で把握できますが、年ごとの数値は把握できません。障害のある人の雇用率については、法定雇用率の2%を遵守するよう企業に働きかけを行っているところです。出産・子育て後の女性の再就職率は数値の把握ができていないところです。</p>
55	<p>【多様な人材が活躍する社会の実現】</p> <p>女性の創業促進について、創業も重要だが、既存の事業者の「再生支援」は非常に重要だと考えるが、その「事業再生」が今回の戦略には全くないように思う。</p>	<p>地域社会の担い手である中小企業・小規模事業者が持続的・安定的な経営が実現できるよう、経営改善や事業再生に支援機関と連携して取り組むこととしており、本戦略(P.11)に記載しているところです。</p>
56	<p>【多様な人材が活躍する社会の実現】</p> <p>“多様な人々”が“多様な場”を得て“多様な自己実現”ができる岡山にするために、「やりたいこと応援団」のようなチームや窓口があるとうれしい。</p>	<p>多様な人々のやりたいことすべてを応援する窓口の設置は困難ですが、女性、高齢者、障害のある人等、多様な人々が、自己実現を果たし、笑顔で過ごせるよう、それぞれの方の抱える課題に応じて、情報提供や相談対応等の支援を行ってまいりたいと考えています。</p>
57	<p>【多様な人材が活躍する社会の実現】</p> <p>高齢者の活躍の場として、育児や遊びを通して後世に伝統や文化を学ばせる場を創設してほしい。</p>	<p>県内の老人クラブ等が、既存の公民館等を利用して、若い世代との交流事業を行っていますので、そのような場を活用していただければと考えています。</p>
58	<p>【多様な人材が活躍する社会の実現】</p> <p>定年退職制度を廃止し、仕事の引き際を自分で決める制度があってもよいのではないかと。</p>	<p>企業は、高年齢者雇用安定法により、定年の定めを廃止し、定年の65歳以上への引き上げのいずれかの措置を実施することが義務づけられており、実際、県内には定年の定めを廃止しているところもあります。県としては、今後とも、高年齢者がより一層働きやすくなるような雇用確保措置の推進に努めます。</p>
59	<p>【多様な人材が活躍する社会の実現】</p>	<p>国において、育児休業取得者の代替要員の確保のために中小企業事業主に対し助成</p>

	<p>再就職に対する支援の記載はあるが、出産・子育てのために休職している間の支援に関する記載がない。</p> <p>休職中の社員や職員を抱える企業に対する支援制度の新設・拡充を推進施策に織り込み願いたい。</p>	<p>する制度を設けているところであり、県では御提案の支援制度の新設等については考えていませんが、制度が十分活用されるよう、引き続き、働きかけてまいりたいと考えています。</p>
60	<p><b>【魅力ある教育環境の整備】</b></p> <p>全国学力・学習状況調査の全国順位ばかり先行させず、まず、教育・学習環境の整備を指標とするべきではないか。また、人的増員、支援員の配置をお願いしたい。</p>	<p>全国学力調査の結果や全国順位がすべてを表すものではありませんが、落ち着いた学習環境整備や、教員の指導力向上などの施策の積み重ねが、全国順位に反映されるものと考えて指標として掲げているところです。</p> <p>教員の増員については、今後、正規教員の大量退職が見込まれる中、中長期的な見通しに基づいて、計画的に新規教員の採用を進めてまいります。</p> <p>支援員については、きめ細かな指導体制が確保できるよう、今後も引き続き、適正な配置に努めます。</p>
61	<p><b>【魅力ある教育環境の整備】</b></p> <p>これまでと変わらない指標（全国学テ順位・暴力行為の発生割合）だけをまた示すのか。「魅力ある教育環境の整備」が戦略目標であれば、「エアコン設置」や「30人以下学級」など魅力のある教育環境を目指す指標も示してほしい。</p>	<p>全国学力調査の結果や全国順位がすべてを表すものではありませんが、落ち着いた学習環境整備や、教員の指導力向上などの学力向上のための施策の積み重ねが、全国順位に反映されるものと考えています。</p> <p>暴力行為の発生割合についても、児童生徒の規範意識向上のための施策の積み重ねが反映されるものと考えて指標として掲げているところです。</p> <p>また、原則、アウトカム指標を掲げることとしており、御提案の指標を掲げることは考えていません。</p>
62	<p><b>【魅力ある教育環境の整備】</b></p> <p>魅力ある教育環境とは、学力テストの順位を上げることなのか。誰にとって魅力的な教育環境を整えようと考えているのか。あたたかい本当の魅力ある教育県をめざすなら、違った視点から指標を設定してはどうか。</p>	<p>全国学力調査の結果や全国順位がすべてを表すものではありませんが、落ち着いた学習環境整備や、教員の指導力向上などの施策の積み重ねが、全国順位に反映されるものと考えて指標として掲げているところです。</p>

<p>6 3</p>	<p><b>【魅力ある教育環境の整備】</b>        学園都市の創生（私学との共存）。        ①教育制度の改革        ②人材育成・人口減対策・デジタル社会等の構築        ③少数精鋭の英才教育        ④産業界と連携し地域経済を振興        ⑤教員と学校間の質の向上を図る        （注）        ・義務教育の初等教育（原則４年間）        ・初等教育後、公立・私学の選択        ・義務教育の高等教育（原則８年間）        ・公立はコース選択制、私学は全学科一任</p>	<p>教育制度の改革については、国において行われることであり、義務教育学校制度が本年６月に公布されたところです。今後も国の動向を注視してまいります。</p> <p>人材育成・人口減対策・デジタル社会等の諸課題にあたっては、ＩＣＴ教育や少人数学級等、社会情勢を踏まえた教育を推進するとともに、研修等の充実により教員の質の向上を図ってまいります。</p> <p>また、地域における学校の役割を勘案し小規模校の存続・統合を検討する市町村を支援してまいります。</p> <p>私立学校はそれぞれ独自の建学の精神と教育方針のもとに特色ある教育を行っており、公教育の重要な一翼を担っていることから、生徒・保護者の修学上の経済的負担の軽減や私立学校経営の健全性を高めるため、知事部局において適切に助成を行っているところです。</p> <p>さらに、県内大学や高専と産業界との連携は重要であり、県としても産学官連携に取り組んでいるところです。</p>
<p>6 4</p>	<p><b>【魅力ある教育環境の整備】</b>        教育で大切なことは、テストの順位を上げることではなく、豊かな学びを保障し、生きる力を持った心やさしく、たくましい人間を育成することではないか。学習、運動、生活環境等など、子どもたちは二極化傾向にあり、テストの順位にこだわることはさらなる二極化を助長する恐れがある。</p>	<p>全国学力調査の結果や全国順位がすべてを表すものではありませんが、落ち着いた学習環境整備や、教員の指導力向上などの施策の積み重ねが、全国順位に反映されるものと考えて指標として掲げているところであり、基礎・基本を徹底するための授業改善を進めるとともに、学習時間を確保するため、学習支援員による放課後や長期休業中の補充学習などの取組を進めているところです。</p>
<p>6 5</p>	<p><b>【魅力ある教育環境の整備】</b>        重要業績評価指標はH31までとなっており、あと４年ほどで達成できるとは思えない。期限を決めずに達成するまで行うこととしてほしい。また、「全国学テの順位」「暴力行為の発生割合」を指標とするの</p>	<p>重要業績評価指標については、高い目標ではありますが、目標達成に向けて取り組んでまいります。</p> <p>全国学力調査の結果や全国順位がすべてを表すものではありませんが、落ち着いた学習環境整備や、教員の指導力向上などの施策の積み重ねが、全国順位に反映される</p>

	<p>は間違っており、本当に行政が行うことは、教育環境・学習環境の整備だと考える。</p>	<p>ものと考えています。</p> <p>また、暴力行為の発生割合についても、児童生徒の規範意識向上のための施策の積み重ねが反映されるものと考えて指標として掲げているところです。</p>
66	<p><b>【魅力ある教育環境の整備】</b></p> <p>貧困の連鎖を断ち切り、格差是正と社会の底上げを図るためには、生活困窮家庭の子どもたちに対する教育の場の確保が重要である。一般的な学力の向上という方向性だけではなく、もう一步踏み込んだ生活困窮者対策が必要である。</p>	<p>県では、経済的な理由で子どもが教育機会を失うことがないように、放課後児童クラブや地域未来塾などの学習支援を行っています。今後も市町村教育委員会等と連携しながら、こうした取組を進め、教育の機会均等を図ってまいります。</p>
67	<p><b>【魅力ある教育環境の整備】</b></p> <p>地域に根ざしたグローバル・リーダーの育成において、「大学や経済団体と連携」は地域協議会メンバーには国際交流関係機関も含まれるので、「経済団体等」がよい。</p> <p>また、「地域企業等での」は「地元企業等」の記述の方がよい。</p>	<p>御意見を踏まえ、「大学や経済団体と連携」を「大学や経済団体等と連携」に修正し、「地域企業等」は、事業の趣旨がより明確になるよう「県内企業等」に修正します。</p>
68	<p><b>【魅力ある教育環境の整備】</b></p> <p>「全国学力・学習状況調査の全国順位を10位以内に」という目標設定は、間違っている。順位を上げることが目標に設定するのは、今すぐやめるべきである。</p>	<p>全国学力調査の結果や全国順位がすべてを表すものではありませんが、落ち着いた学習環境整備や、教員の指導力向上などの施策の積み重ねが、全国順位に反映されるものと考えて指標として掲げているところです。</p>
69	<p><b>【魅力ある教育環境の整備】</b></p> <p>子どもたちにいい環境で授業を受けさせるために、各校へのエアコンの設置を強く要求する。</p>	<p>小中学校へのエアコン設置については、設置者である市町村が学校の実情に応じて適切に判断すべきものと考えています。市町村が小中学校にエアコンを設置しようとする際には、国の補助制度について情報提供するなど、その取組を支援します。</p>
70	<p><b>【魅力ある教育環境の整備】</b></p> <p>全国学力テストの順位や暴力行為の発生割合にこだわるのではなく、行政は教育予算の充実（具体的には少人数学級の実現、正規教員の採用増、学校予算の充実など）に力を注</p>	<p>全国学力調査の結果や全国順位がすべてを表すものではありませんが、落ち着いた学習環境整備や、教員の指導力向上などの施策の積み重ねが、全国順位に反映されるものと考えています。</p> <p>暴力行為の発生割合についても、児童生</p>

	いでほしい。	<p>徒の規範意識向上のための施策の積み重ねが反映されるものと考えて指標として掲げているところです。</p> <p>また、教育条件や教育環境の整備のため、毎年度、必要な予算の確保に努めてまいります。</p>
7 1	<p>【魅力ある教育環境の整備】</p> <p>暴力行為の発生割合や全国学力・学習状況の調査の順位ではなく、行政が行うべき教育環境・学習環境の整備を指標とすべきである。</p>	<p>全国学力調査の結果や全国順位がすべてを表すものではありませんが、落ち着いた学習環境整備や、教員の指導力向上などの学力向上のための施策の積み重ねが、全国順位に反映されるものと考えています。</p> <p>暴力行為の発生割合についても、児童生徒の規範意識向上のための施策の積み重ねが反映されるものと考えて指標として掲げているところです。</p> <p>また、教育条件や教育環境の整備のため、毎年度、必要な予算の確保に努めてまいります。</p>
7 2	<p>【魅力ある教育環境の整備】</p> <p>社会減対策として、県立大学だけでなく、岡山大学や県内の大学・短大等への進学を推進する施策が必要ではないか。</p>	<p>大学への進学については、子どもたち一人ひとりがそれぞれの夢や目標の実現に向けて自らの人生を切り拓くことを支援する観点から、県立高校において、県内の大学・短大等への進学のみを推奨することはできませんが、県内大学が取り組んでいる地域貢献活動と連携して郷土への愛着と誇りを持ち地域に貢献する人材の育成に取り組んでまいりたいと考えています。</p>
7 3	<p>【魅力ある教育環境の整備】</p> <p>重要業績評価指標である「暴力行為の発生割合」や「全国学力・学習状況調査の全国順位」は実態を表しているとは言い難いので、「教育環境の整備」や「学習環境の整備」を指標とするべき。</p>	<p>全国学力調査の結果や全国順位がすべてを表すものではありませんが、落ち着いた学習環境整備や、教員の指導力向上などの学力向上のための施策の積み重ねが、全国順位に反映されるものと考えています。</p> <p>暴力行為の発生割合についても、児童生徒の規範意識向上のための施策の積み重ねが反映されるものと考えて指標として掲げているところです。</p> <p>また、教育環境や学習環境の整備については、今後とも予算等を効果的に活用して取り組んでまいります。</p>



74	<p>【魅力ある教育環境の整備】</p> <p>仕事場の確保と同時に教育、子育ての独自性のある取組、地域による地域教育の推進が必要である。</p> <p>若い世代が残りたい、子育て世代が移住するのに選ばれる県となるよう注力していただきたい。</p>	<p>子ども・子育て支援新制度の推進による幼児期の教育・保育の拡充を図るものとして、就学前教育の充実等についても記載しており、県としては、その実施に努めてまいります。</p> <p>また、各々の地域の独自性が光るような施策に取り組み、県全体で子どもを育む県となるよう、市町村と連携しながら、取り組んでまいりたいと存じます。</p> <p>県では、地域の特性を生かしながら、地域住民の参画による学校教育支援、放課後等学習支援、家庭教育支援の活動に取り組み、地域ぐるみで子どもを健やかに育む体制づくりを推進しているところです。</p>
75	<p>【魅力ある教育環境の整備】</p> <p>学校教育の質の向上のために、教員の質の向上が必須である。閉鎖的環境になりやすい学校では、教員の考え方も硬直し時代に即座に対応した指導ができなくなるおそれがあるため、定期的な外部研修を行うべきではないか。</p>	<p>これまでも、教員を民間企業に派遣しての研修等を行ってきたところですが、今後も様々な研修機会の充実に努めてまいります。</p>
76	<p>【魅力ある教育環境の整備】</p> <p>郷土愛は地域コミュニティにおける人間関係等のソフト面も考慮しながら醸成していくべきである。また、郷土における仕事への愛着度の向上を図ることで、就職による転出を減少させることも図るべきではないか。</p>	<p>県では、公民館を拠点とした若者が企画・運営する取り組みを支援し、地域コミュニティを生かしながら、活躍の場を創出することによって、若者の地域への愛着心を高め、地元定着や地域活動を推進しているところ。</p> <p>また、小中学校では地域における職場体験やボランティア活動等、社会と交流する機会を充実させるとともに、道徳の授業等において、こうした活動を振り返り、自分の良さや役割を明確にする取組を進めています。</p> <p>高等学校においては、地域人材育成支援事業として、地元の企業等と連携して、高度熟練技能者などの社会人講師を招へいし、資格取得や実験・実習、課題研究などで実践的な技術指導を行ってもらうこと等</p>

		を実施しており、地元企業を支える技術者の育成支援など、地元への就職につながるよう支援しているところです。
77	<p>【魅力ある教育環境の整備】</p> <p>教育問題は子ども達が「社会ニーズに対応できる」以前に、基礎的学力や教育体制に力を入れる方が必要ではないか。</p>	<p>基礎・基本を徹底するための授業改善を進めるとともに、学習時間を確保し、きめ細かに授業でのつまづきを解消するため、学習支援員による放課後や長期休業中の補充学習など、子どもの環境の違いにより、学力差が生じないように、取組を進めているところです。</p>
78	<p>【魅力ある教育環境の整備】</p> <p>勉強をしなかったことから、貧困の連鎖に陥っている人がいる。働く機会を得るためにはしっかりと勉強をして、自分の力で生活していくことを小さい頃から教育していくことを考えてほしい。</p>	<p>御指摘のような状況を改善するためには、小学校段階からの継続したキャリア教育の充実が大切であると考えており、今年度、小学校での学ぶ意欲を高める実践を集約した実践事例集を作成し、各校への普及を図ることとしています。</p> <p>また、中学生の望ましい職業観や勤労観を育てるとともに、自己の生き方を考え、様々な課題を乗り越えながら学習や生活にチャレンジできるよう、地域における職場体験活動の実施を支援しており、御指摘の点も踏まえ、一層自己の生き方を考える学習を充実してまいります。</p>
79	<p>【魅力ある教育環境の整備】</p> <p>県内市町村と大学コンソーシアムとの協定締結を願うとともに、大学の知見を生かして、大学と産業界の双方が協力して地域の課題を解決する仕組みづくりをお願いしたい。</p>	<p>県内の市町村または経済団体と大学コンソーシアム岡山との協定締結については、それぞれの団体の意向を尊重したいと考えています。</p> <p>なお、県と大学コンソーシアム岡山とは8月に包括連携協定を締結したところであり、これにより、連携・協力関係を一層強化し、大学の知見を地域の課題解決などにも生かしていきたいと考えています。</p>
80	<p>【魅力ある教育環境の整備】</p> <p>大学の持つ技術と企業の持つ機能を結びつけるため、行政による支援が重要である。</p> <p>行政として大学コンソーシアム他を活用した大学と個人や企業が協働できる仕組みづくりをお願いした</p>	<p>推進施策「技術革新の支援」(P21)に、研究開発拠点である工業技術センター等を中心に、産学金官の連携による新技術・新製品の開発等を支援することを盛り込んでおり、岡山・産学官連携推進会議などを通じて、引き続き、産学金官連携による技術開発、製品開発を支援してまいります。</p>

	い。	
8 1	<p><b>【魅力ある教育環境の整備】</b></p> <p>自分が“他（人・物・事）”に対して思う事や考える事やする事はいつしか必ず自分にはね返ってくるのだということを、幼少期から、小・中・高校生に向けて成長段階に合わせて訴え続けていくことが大切である。それにより、すぐにまわりの人や社会のせいにする事がなく、逆に良い事をする子供達が増えていく事が理想である。</p>	<p>子どもたちの心の土台を育む道德教育の充実は大変重要であり、現在、就学前から高等学校段階までの心の教育の充実を図るため、岡山県の道德教育の課題を基に、各校及び地域における道德教育推進の体制づくりや教員の指導力の向上に資する研修を実施し、各校の道德教育の充実を図っています。</p> <p>また、学びへの意欲を高めたり、自分の在り方や生き方について考えるためのヒントとなる短い言葉が集められた「論語」を学校教育に取り入れるための事業を展開するとともに、高等学校段階では社会貢献活動を推進することにより、社会の一員としてより良い社会づくりに参画していこうとする意欲を育む取組を行っています。今後も、幼稚園から高等学校まで成長段階的に応じて子どもたちの豊かな心を育成してまいります。</p>
8 2	<p><b>【魅力ある教育環境の整備】</b></p> <p>中絶について、道德や性教育を授業でしっかり教育して欲しい。また、より道德観念の強い教員を育成していただきたい。</p>	<p>性に関する指導については、児童生徒の発達段階に応じて、保健体育の時間をはじめ、学級活動・道德・総合的な学習の時間等、学校教育活動全体を通して実施しており、性に関する科学的知識の指導とともに、倫理的な面の指導等も併せて行っております。また、教える立場にある教員については、経験年数別研修等において、指導力の向上を図るとともに、倫理性の向上等にも努めています。</p>
8 3	<p><b>【拠点機能の確保】</b></p> <p>「小さな拠点」の形成と連携した道路ネットワークの整備について、地域高規格道路の整備促進や、高規格幹線道路および地域高規格道路のインターチェンジへのアクセス改善を盛り込んでいないのはよくない。総合戦略では、中山間地域等に限定したのではなく、均衡ある県土づ</p>	<p>地域高規格道路や、高規格幹線道路及び地域高規格道路のインターチェンジへのアクセス道路等の交通基盤の整備については、物流基盤の強化に必要なものとして、本戦略11ページに産業基盤の整備として記述しています。</p>

	<p>くり的なものも盛り込んでおかないと「小さな拠点」は形成されにくいと思う。</p>	
84	<p><b>【拠点機能の確保】</b> 道の駅の地域拠点化については、道の駅と類似する施設が多くあり、道の駅だけを対象とした表現はよくない。道の駅と類似する施設を含めた表現に改めることや、道の駅と類似する施設の道の駅への登録促進を盛り込むべき。</p>	<p>道の駅の類似施設の地域拠点化については、拠点機能の確保として、19、26ページの「『小さな拠点』の形成支援」の中で「道の駅やコンビニなども活用しながら」と、類似施設の活用も含めて記述しているところでは、道の駅と類似する施設の道の駅への登録についても、道の駅の地域拠点化の取組の中で、道の駅の設置主体となる市町村から提案があれば検討したいと考えています。</p>
85	<p><b>【拠点機能の確保】</b> 「課題と対策」において「県外への人口流出を食い止め、人を呼び込むためには、・・・人口のダム機能を担う拠点性を強化する必要がある」と記述されているが、拠点機能が人口流出の最大の要因のように捉えられているのか。また、「確保」という言葉は、維持のイメージが強いので、「強化」としてはどうか。</p>	<p>人口流出を食い止め、ヒトを呼び込むためには、日常生活サービス等の提供を行う拠点機能の確保は重要な要素であると考えているところでは、また、「確保」という言葉については、そうした機能が十分確保できない地域もあることから、まずは確保することを目指すという意味で、「拠点機能の確保」としているところでは、</p>
86	<p><b>【拠点機能の確保】</b> 「小さな拠点」づくりにおける市町村、県を越えた連携の支援を行うべきではないか。</p>	<p>県では、「小さな拠点」の形成に取り組む市町村を支援することとし、今後、具体的な支援内容を検討することにしてはいますが、小さな拠点と集落を結ぶネットワークなど、市町村や県を越えた連携に対する支援についても、検討してまいります。</p>
87	<p><b>【拠点機能の確保】 【地域社会の活性化】</b> 「地域公共交通の維持・確保」の記述では、公共交通としてバスしかないような誤解を招くおそれがあり、また、鉄道（軌道を含む）は地域のまち・人・仕事づくりに重要な役割を果たしていることから、「バス路線等」を「鉄道やバス路線等」とした方がよいのではないか。</p>	<p>「バス路線等」には、鉄道をはじめ、離島航路、デマンドタクシー等が含まれていますが、特に県内全域に関わるバス路線を例示したものであり、重要な地域公共交通である鉄道についても、引き続き、事業者や市町村と連携して、利用促進等に取り組んでまいります。</p>

88	<p><b>【情報発信力の強化】</b> とっとりおかやま新橋館において、岡山を上手にアピールしてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期間限定でいろいろな商品を季節ごとに販売する</li> <li>・委託販売にしてどちらもマイナス部分ないようにする</li> <li>・岡山弁のおばちゃんを販売員にして、岡山弁も少し使いながら販売する（期間限定・ボランティア参加など募集する）</li> <li>・銘菓を販売する</li> <li>・きびだんご食べくらべ</li> </ul>	<p>御提案のうち、桃やぶどう、銘菓、帆布製品の販売や雑貨などの委託販売については既に取り組んでおり、今後とも、岡山の魅力をPRできるよう、物販店舗運営事業者と連携しながら、季節感を打ち出した商品の品揃えなどに取り組んでまいります。</p>
89	<p><b>【情報発信力の強化】</b> 課題と対策の中で、「知名度を高める」とあるが、名前だけを売り込むのではないはずである。もう少し、具体的な記述があると分かりやすい。</p>	<p>御意見を踏まえ、課題と対策に、「暮らしやすさなど、本県の魅力をPRすることにより」を加えます。</p>
90	<p><b>【情報発信力の強化】</b> 岡山の利点はたくさんあるが、特に「晴れの国」に着目し、TVコマーシャルで繰り返しアピールする事が大切である。</p>	<p>「晴れの国」は、本県の良いイメージを象徴的に伝える明るく前向きなフレーズであり、今後も積極的に使っていきたいと考えています。TVコマーシャルを含めそのPR手法については、費用対効果など十分に検討しながら進めてまいります。</p>
91	<p><b>【地域社会の活性化】</b> 真庭では山林や木クズを利用した発電により、多くの雇用と、将来的な夢と希望を与えている。旧川上郡にも多くの山林があり、このように上手に利用し自然に優しい発電を行って山村を活性化して人々を集め、生活に潤いを与える夢のある事業を行っていただきたい。</p>	<p>未利用間伐材等の利用は、資源の有効活用や雇用の創出、地域経済の活性化につながると考えておりますが、安定供給など課題も多く、市町村が中心となり、地域に合った活用方法を検討することが重要であり、県としても必要な支援に努めてまいりたいと考えています。</p>
92	<p><b>【地域の持続的発展のための経済力の確保】</b> 重要業績評価指標（KPI）と推進施策のリンクが解りにくい。推進</p>	<p>KPIについては、さまざまな推進施策で構成される政策パッケージごとの達成状況を評価するために代表的な指標を掲げており、推進施策ごとにKPIを設定するこ</p>

	<p>施策を実行すれば、KPIが実現できるというシナリオが見えない。それぞれの推進施策の目標値を明確にすることで、この関連性とシナリオが見えてくるはず。</p>	<p>とは考えていないところです。</p>
93	<p>【地域社会の活性化】</p> <p>「地域の持続的な発展のための活力の維持」において、その具体的な施策があまり記述されていない。効率的・効果的な社会・経済システムの姿とその構築策を明記する必要がある。</p>	<p>生活を支えるサービスの提供等が大きな課題となることから、拠点的な地域における生活機能を一地域に集めた「小さな拠点」の形成や、拠点間を結ぶ地域公共交通の維持確保を支援することで、地域の活性化を図ることとしているところですが、御提案を踏まえて、新たに、ソーシャルビジネスの手法を活用した取組などを図ることを追記します。</p>
94	<p>【地域社会の活性化】</p> <p>中山間地域等の活性化の取組として、ソーシャルビジネスなど、地域内での経済循環についても記述すべきではないか。</p>	<p>中山間地域等におけるソーシャルビジネスの手法の活用などは重要であり、御提案を踏まえて、地域経済の活性化も含め、地域の活性化を図るため、ソーシャルビジネスの手法を活用することを明記します。</p>
95	<p>【地域社会の活性化】</p> <p>「県立高校のあり方を検討する」とは中山間地域の高校廃校をさらに進めるという意味か。</p>	<p>「県立高校のあり方を検討する」に関しては、時代の進展やニーズに対応した教育内容の検討や地域と連携した学校づくり等の魅力ある高等学校づくりの方策とともに、さらなる生徒減少に伴って高等学校の小規模化が想定される状況における、地域の状況を踏まえた学校規模や学校・学科等の適正配置等、高等学校教育の基盤整備の方策について、外部の有識者の意見を踏まえ検討を進めてまいりたいと考えており、廃校のみを前提とするものではありません。</p>
96	<p>【地域社会の活性化】</p> <p>もっと積極的に観光コンベンション、スポーツコンベンションの形で誘致する必要がある。</p> <p>「観光コンベンション」、「スポーツコンベンション」という言葉をキーワードとして具体的に記載し、行政としてより積極的に見本市、各</p>	<p>コンベンション誘致については具体的に記載しておりませんが、経済活性化や観光振興など大きな効果が期待できることから、今後とも関係機関と連携しながら積極的に誘致を図ってまいりたいと考えています。</p> <p>なお、キャンプ地誘致や各種大会の誘致など「スポーツコンベンション」の取組は</p>

	種大会、学会等を誘致して、流入人口の増加を図っていただきたい。	重要であることから、事前キャンプ地誘致などを通じた誘客促進により、地域活力の醸成につなげることであります。
97	<p>【行政運営の効率化・最適化】</p> <p>公共施設、道路、橋、トンネル、水道等のインフラが不要となる地域が発生することが予想されるが、県としての対応や方針が計画に記載されていない。人口減少社会を踏まえ、インフラの評価方法、地域住民の合意形成や県民の意見集約の方法等を計画に織り込んでおく必要がある。</p>	<p>今後、人口減少等により公共施設等の利用需要が変化していくことが予想されることを踏まえ、長期的な視点をもって公共施設等を総合的かつ計画的に管理するため、公共施設等総合管理計画の策定に取り組むこととしています。</p>

### (3) その他

番号	意見の要旨	県の考え方
98	<p>【その他】</p> <p>継続的な人口減少が見込まれる中においては、個々の水道事業体では乗り越えられない課題解決や県内水道事業の今後のあり方の検討など、県のリーダーシップによる取り組み等不可欠である。戦略案では、県の役割として「県内の多くの市町村が抱える共通課題解決のための施策の推進」が掲げられているが、市町村水道事業体抱える問題についての具体的な方向性等が示されていない。人口減少を前提とした水道事業に係る諸課題への対応についても、県として積極的に取り組んでいただくとともに、具体的な方向性について、総合戦略に記載してほしい。</p>	<p>厚生労働省が示した新水道ビジョンでは、50年後、100年後の水道の理想像を具現化するための各種方策の実施に当たって関係者がそれぞれの状況や立場に応じて適正に役割分担することが必要と示されています。</p> <p>こうした観点を踏まえ、具体的な方向性について本戦略に記載することまでは考えていませんが、県では各水道事業体におけるアセットマネジメント等の推進を働きかけているところであり、こうした取り組みを通じ、戦略に掲げる行政運営の効率化・最適化と連携の推進を図ってまいりたいと考えています。</p>
99	<p>【その他】</p> <p>ばい菌の飛散を押さえる「くしゃみのしかた」を手洗い・うがい・マスクの励行とともに周知してほしい。</p>	<p>県では、インフルエンザ等の対策として、「せきエチケット」として、咳・くしゃみが出たら、他の人にうつさないためにマスクを着用すること、マスクをもっていない場合は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れることを推奨しており、ホームページ上や、</p>

		インフルエンザ注意報の発令時等に周知に努めています。今後とも、こうした他人にうつさないための対策の周知に努めてまいります。
100	<p>【その他】</p> <p>産業廃棄物、不法投棄を除き一般ごみの収集、運搬、焼却の設備を開発する。また、高齢者、障害者をゴミ関連作業に就かせてはならない。</p>	一般廃棄物の処理は市町村において適切に実施される事業であり、御提案について県が回答する立場にありません。
101	<p>【その他】</p> <p>岡山市は、地域振興を目的に町内会や町内連合会と区長との協議による区民会議を設置すべき。</p>	御提案いただきました、町内会等と区長との協議の場となる「岡山市における区民会議の設置」については、所管する岡山市にその内容をお伝えします。
102	<p>【その他】</p> <p>核廃棄物の最終処分地や米軍・自衛隊の航空機（オスプレイ受入の基地）など、中央機関からの移管事業を引き受けて。</p>	<p>県はかねてから「県民に不安を与えるような施設は受け入れない」との方針で対処しているところです。</p> <p>なお、米軍に関する事項及び自衛隊施設のあり方については国の専管事項であることから、県が判断する立場にありません。</p>